

第1回「アルコール・インターロック装置の技術課題検討会」における論点

検討会の方針	技術面について議論する	
	インターロック装置導入に係わる課題	NHTSAガイドラインおよび米国の状況
技術	不正使用防止対策	個人の識別はできないが、呼吸法により呼気を判定 不正改造や回避の防止策は十分に開発されていない
	誤作動(非アルコール飲料での誤検知)	未対応(ただし、燃料電池式の場合、気体の選択性が高い) ※なお、欧州CENEREC規格には、分析特性に関する規定 有り。
	呼気以外の簡便な検知法	汗や皮膚温による検知器を試作(精度未確認)
	バスアイドリングストップへの対応	未対応
運用	操作プログラムの教習	政府認定のメンテナンス会社がビデオを見せて教習する
	メンテナンス体制	政府認定のメンテナンス会社が行う。
	個人データの管理	裁判所
	データの所有権	裁判所
制度	違反者に装着	46州, 70,000台に装着
	事業用車両に装着	なし ※スウェーデンでは政府の仕事をしている3.5t以上のトラック(年間100時間以上運行)に装着する制度が2007年から スタートする予定
	全車装着	未対応
	任意装着	未対応
	罰則あるいは予防策	罰則
	規制, 制裁, 義務化の程度	規制・制裁
	インターロック装着の指示	裁判所
	インターロック付き車両限定免許	あり
	インターロック付き車両を他の人が運転する	あり
インターロック規制値	推奨値0.025%w/v (規制値は各州で規定)	
価格	量産した場合の価格(現在20万円程度)	レンタル
	違反者の費用負担の程度	全額(メンテナンス費用, 脱着工賃, データ取得料を含む)
その他	費用対効果の分析	飲酒運転が1/2に減ったが、外すと元に戻る